

入試分析 社会

【出題形式】

- 問1：世界地理
問2：日本地理
問3：歴史（古代～近世）
問4：歴史（近現代）
問5：公民（経済分野）
問6：公民（政治分野）
問7：地歴公の融合問題

正誤問題・資料の読み取りがやや難化。

出題形式と設問数は昨年度と変わらない。大問7題で設問数34個。選択肢8つの問題が3問から7問へ4問増加。しかし、基本的な知識で一気に絞れるので大勢に影響は無いだろう。それよりも各大問に必ず出題されている「**正誤問題**」が得点への鍵となる。基本的な知識で解ける問題も存在はするが、資料とのリンクもあり、解くのに時間がかかり、時間配分への影響も考えられる。また「**資料の読み取り問題**」もベースとなる基礎知識が必要であり、かつ引き続き読解力を要する問題となっている。

入試問題にチャレンジ！（地理＆歴史）

問1（ア）ヨーロッパの自然環境について説明した次の文中の
あ、いにあてはまる語句の組み合わせとして最も適するものを、あとの1～4から一つ選び、その番号を答えなさい。

ローマ周辺は 性気候であり、夏に乾燥するという気候の性質を利用して、生産しやすい を使用した料理などがある。

- 1.あ：地中海 い：バナナ 2.あ：地中海 い：オリーブ
3.あ：西岸海洋 い：バナナ 4.あ：西岸海洋 い：オリーブ

問3（イ）古代から近世における人の移動に関する次のできごとⅠ～Ⅲを年代の古い順に並べたものとして最も適するものを、あとの1～6から一つ選び、その番号を答えなさい。

- Ⅰ 江戸時代の将軍や琉球王国の代が替わるごとに、琉球王国は使節を江戸に派遣した。
Ⅱ 倭国の軍が唐・新羅の連合軍に大敗したあと、九州地方には防備のために兵が派遣された。
Ⅲ 城下町の経済的発展をはかるために、特権的な座や、移動の妨げとなっていた関所が廃止された。

1. Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ 2. Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ 3. Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ
4. Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ 5. Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ 6. Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ

解答：問1（ア）2 問3（イ）4

＜入試に向けて＞

- ①WeeklyTest と教科書で基本的な知識や用語の暗記を行う。

4月～10月までに地理・歴史の基礎知識を仕上げる。

- ②歴史は年号ごろ合わせも使って、暗記を行う。

できごとや文化を見て、時代や順番が言えるように復習する。

- ③資料やグラフの読み取りに慣れる。
縮尺の計算、割合や%から数量も計算できるようにする。

読解力と計算力をつける！

- ④キーワードからどの知識が問われているかを推測する。

模試・テスト&ゼミ・入試過去問を解いて、知識をアウトプットする訓練をする。忘れていた知識を見つけて補強する。